

## 「福岡空港特定運営事業等」に対するプロジェクトファイナンス の組成について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）および株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺 一、以下「DBJ」）は、国内最大規模の空港コンセッション事業である「福岡空港特定運営事業等」に対するプロジェクトファイナンスのマンデーテッドリードアレンジャー兼ブックランナー（主幹事行）として、株式会社西日本シティ銀行（頭取：谷川 浩道）および株式会社福岡銀行（取締役頭取：柴戸 隆成）は同リードアレンジャーとして、このたび、福岡国際空港株式会社に対する総額約1,700億円の協調融資（シンジケートローン）を組成しました。

協調融資には、マンデーテッドリードアレンジャーおよびリードアレンジャーを含め合計12の金融機関が参加し、みずほ銀行がセキュリティエージェントを、DBJがファシリティアージェントを務めます。

福岡国際空港株式会社は、福岡エアポートホールディングス株式会社を代表企業として、西日本鉄道株式会社、三菱商事株式会社、チャンギ・エアポート・インターナショナルおよび九州電力株式会社から構成されるコンソーシアム「福岡エアポート HDグループ」が出資し、2018年7月2日に設立された会社です。国土交通省との間で2018年8月1日付にて締結した本件事業の実施契約に基づき、福岡空港の運営事業を行います。

福岡空港は、日本を代表する中核的な空港であり、高まる需要に対応するため、2024年度には国による滑走路増設が予定されています。今般のコンセッションにより、民間事業者の知見を活かした空港全体での一体的・機動的な経営が期待されています。

本件事業は九州地方を代表する基幹インフラである福岡空港の機能のさらなる強化・発展に資するものです。また、本件はプロジェクトファイナンスとしては国内最大級であり、国管理空港のコンセッションとしては国内初となる案件です。

みずほ銀行は、長きにわたりプロジェクトファイナンスに積極的に取り組んでおり、空港分野においても多くの実績を有しております。これまでに培ったノウハウを活かし、事業性に即した弾力的かつ高度なファイナンススキームを構築することにより、今後約30年間の長期間にわたる本事業をファイナンス面から支援していきます。

以上

(別紙)

## 1. 事業概要

事業名	福岡空港特定運営事業等	
事業者	福岡国際空港株式会社	
出資者	福岡エアポートホールディングス株式会社、西日本鉄道株式会社、三菱商事株式会社、チャンギ・エアポート・インターナショナル、九州電力株式会社	
事業内容	福岡空港の滑走路、ターミナルビル等の一体運営	
事業期間	2048年7月31日まで(約30年間)	
本件事業のスケジュール	2018年8月1日	実施契約締結、運営権設定
	2018年10月12日	融資関連契約調印日
	2018年11月1日	ビル施設等事業開始予定日
	2019年4月1日	空港運営事業開始予定日
	2048年7月31日	事業終了予定日(運営権設定日から30年後)

## 2. 融資参加金融機関

株式会社みずほ銀行	ブックランナー・ マンデータードリードアレンジャー
株式会社日本政策投資銀行	
株式会社西日本シティ銀行	リードアレンジャー
株式会社福岡銀行	
株式会社民間資金等活用事業推進機構	
第一生命保険株式会社	
株式会社三井住友銀行	
株式会社三菱UFJ銀行	
株式会社りそな銀行	
富国生命保険相互会社	
明治安田生命保険相互会社	
三井住友信託銀行株式会社	